

## 第4回 大塚地区

### まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

日 時：令和4年1月23日（日）  
午後1時30分～午後4時30分

主 催：蒲郡市

ZoomID：995 6405 8692

パスコード：136714

#### プログラム

開会	1：30
趣旨と経緯について ・ワークショップの趣旨・目的 ・進め方とスケジュール ・前回ワークショップでの議事概要	1：35
オープンハウス（パネル展示型説明会）結果概要	1：50
地区利用型施設再配置プラン案について ・再配置プラン案の追加 ・再配置プラン案の評価・比較	1：55
（休 憩）	2：15
グループ討議 ・評価項目の確認と修正の提案	2：25
発表	4：00
事務連絡	4：25
閉会	4：30

#### <目次>

- ・ ワークショップの趣旨・目的 . . . . . 1
- ・ 進め方とスケジュール . . . . . 2
- ・ 第3回ワークショップの結果概要（案） . . . . . 7
- ・ ふりかえりシートご意見 . . . . . 15
- ・ ご質問等への回答 . . . . . 18
- ・ 大塚地区 再配置プラン案 . . . . . 24
- ・ 評価の視点についてのご意見への回答 . . . . . 27
- ・ 再配置プラン案の評価検証 . . . . . 30
- ・ 本日の検討内容 . . . . . 33

#### <別冊資料>

- ・ 項目ごとの評価の解説
- ・ 大塚地区オープンハウス（パネル展示型説明会）結果概要 . . . 2種類

## ワークショップの趣旨・目的

蒲江市では、急激に変動する社会情勢に対応した公共施設の機能配置や魅力向上を図るとともに、将来に大きな負担を残さない行財政運営を実現するために、公共施設マネジメントの取り組みを進めています。

これまでに市民の皆様のご意見を伺い、「蒲江市公共施設マネジメント基本方針」と「蒲江市公共施設マネジメント実施計画」を策定し、今後の公共施設の整備を進めるための道筋を示しました。

その計画では、小中学校、保育園、児童館及び公民館（地区利用型施設）の再編にあたっては、中学校区単位で住民の皆様のご意見を伺い、施設再編計画となる「地区個別計画」を策定することとしています。

このワークショップは、「蒲江市公共施設マネジメント基本方針」を踏まえ、これから起こる様々な社会の変化や地域の課題に対応した既成概念にとらわれない、より良い公共施設の配置や使い方を考えるために開催するものです。

### 蒲江市公共施設マネジメント基本方針

- ①適正化 将来を見据えた維持可能な施設規模に適正化します。
- ②効率化 効率的・効果的な維持管理を実施します。
- ③魅力 社会変化に対応した魅力ある公共施設へ再編します。
- ④安全性 計画的な保全により公共施設を安全に維持します。
- ⑤実行力 公共施設の再編に向けて実行体制を構築します。

市は、皆様のご意見を参考に大塚地区の「地区個別計画」を策定し、施設の再配置を進めることで、“住んでよかった”“住み続けたい”と思えるような誇りと愛着を持てるまちづくりを目指します。

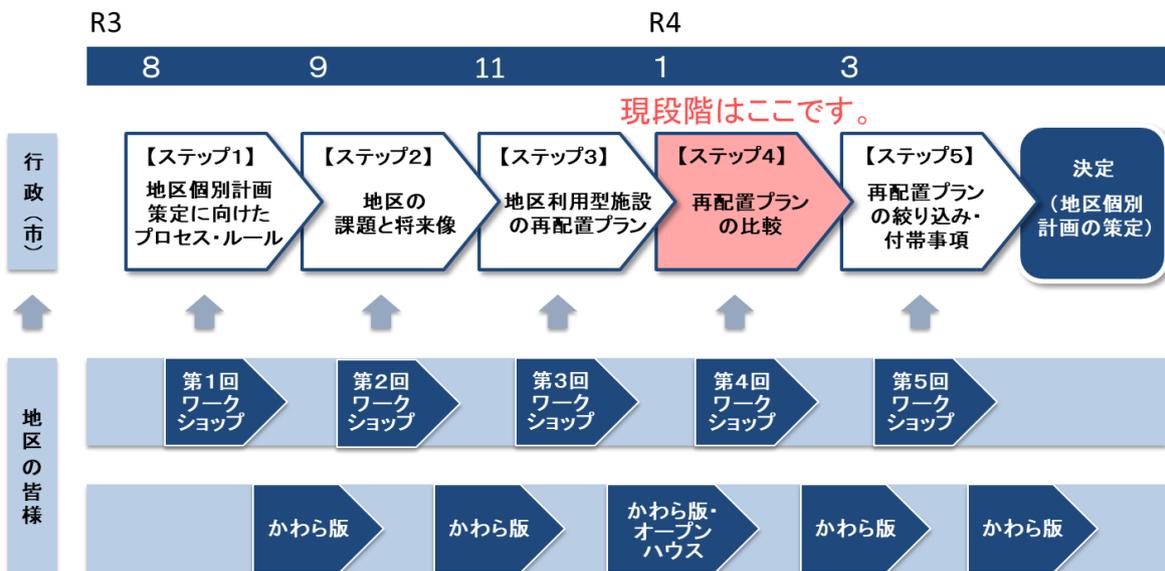
# 進め方とスケジュール

## 1 検討のステップ

市は、ワークショップ等で得られた成果をもとに、「地区個別計画」の策定に向けて次の5つのステップに分けて、段階的に検討を行います。

- ステップ1** ワークショップ等を通じ、地区個別計画をどのような手順で策定するか確認します。
- ステップ2** 地区にどのような課題があるか確認して問題意識を共有します。
- ステップ3** 課題解決に向けた方策について共有し、複数の再配置プランを検討します。更に、複数の再配置プランを比較するための評価の視点について検討します。
- ステップ4** 複数の再配置プランをステップ3で検討した視点に基づき評価し比較します。
- ステップ5** 再配置プランを絞り込むとともに、運営面での工夫等の付帯事項について整理します。

## 2 スケジュール（予定）



### 3 コミュニケーション

「地区個別計画」の策定に向けた検討では、地区の皆様と様々なコミュニケーションを進めていきます。

- ・ ワークショップ
- ・ オープンハウス（パネル展示型説明会）
- ・ かわら版



#### 【オープンハウス（パネル展示型説明会）】

地区の住民の皆様が集まる施設などでパネルを利用し、ワークショップでのご意見や検討された再配置プランなどの内容を広報します。

どなたでも立寄ることができ、住民の皆様からワークショップで検討されている内容についてのご意見をいただきます。

大塚保育園及び大塚西保育園、大塚公民館、大塚中学校にて開催し、利用者を中心に多くの方にご参加いただきました。

#### 【かわら版】

地区内の各世帯に配布するチラシです。各回のワークショップ終了後、広報がまごおりとともに配布を行います。ワークショップでのご意見や検討された再配置プランなどをお知らせするとともに、ワークショップで検討されている内容についてのご意見を募集します。

## 4 ワークショップの概要

- ワークショップは、令和4年3月までに5回開催します。
- 原則、日曜日に開催します。
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインで開催します。ご自宅等からの参加が難しい場合は、大塚中学校にて参加できます。
- 事務局は、蒲郡市総務部公共施設マネジメント課が担当します。
- ワークショップには、公募でご応募いただいた方が参加します。
- 同じ参加者に継続してご参加いただき、議論を深めていきます。
- ワークショップでは、参加者の皆様にグループ討議で自由にご議論いただきます。
- 大塚中学校に設置された中継会場から一般の傍聴者や報道関係者が会議を傍聴することができます。

## 5 ワークショップの進め方

- グループ討議の運営では、円滑な議論のため、司会進行を第三者的立場のファシリテーターがお手伝いします。
- ワークショップでは、グループごとの議論を中心に進め、各回ワークショップの最後に各グループの議論の結果を発表します。
- グループ討議の議論は要点をまとめて記録します。これは個人の発言が特定されるものではありませんので、自由で前向きな議論をお願いします。
- 市に対する要望・陳情の場ではありません。
- ワークショップの様子をホームページ等で公表するなど情報発信を行います。話し合いの様子を記録する場合がありますことをご了承ください。

## 6 ワークショップの成果

- ワークショップでのご意見を踏まえて複数の再配置プランを評価・比較し整理します。
- 整理した内容は、市が「地区個別計画」を策定する際の基礎情報として活用します。

## 7 ファシリテーターのご紹介

～こんにちは。皆さんの議論を円滑に進めるために、第三者的立場から議事進行やとりまとめをお手伝いします。どうぞよろしくお願いいたします。～

なばた めぐみ  
名畑 恵

NPO 法人 まちの縁側育くみ隊

ふじもり みきひと  
藤森 幹人

株式会社 対話計画

かつらやま としあき  
葛山 稔晃

株式会社 対話計画

いなば ひさゆき  
稲葉 久之

フリーランス・ファシリテーター

- 話し合いに積極的に参加しましょう
- 自分の考えを率直に述べましょう
- 前向きな思考で発言しましょう
- 評論家ではなく当事者として関わりましょう
- 他の参加者の意見に耳を傾けましょう
- 気持ちよく運営できるよう協力しましょう
- 議論や運営に貢献する姿勢を讃えましょう

(必要があれば追加しましょう)

## 第3回ワークショップの結果概要（案）

### 1 再配置プラン案について

#### 1) A案「多世代交流の拠点をつくるプラン」

##### 【期待すること】

- 多世代が集まることでお互いの理解が深まり、交流が生まれる場所になるのはよいことだと思う。
- 公民館と学校の集約により、多世代交流ができる。子どもが大人の活動を近くで感じられるのはメリットだ。（A・B・D案共通）
- 保育園と児童クラブが同じ場所にあり、保護者の送り迎えが一度で済む。（A・C案共通）

##### 【不安なこと】

- 地区東端の中学校敷地に集約すると、地区内のバランスが悪く、不便な人が生じる。
- 駐車場や施設の機能を果たすための十分な敷地があるかが心配だ。
- 1カ所に多くの施設が集まることで、送迎による渋滞や交通事故などの安全面で懸念がある。

##### 【提案】

- 現在の公民館は避難所としての利用も含めて活用方法を検討していただきたい。（A・B案共通）
- 大塚西保育園の跡地を遊び場やオープンスペースとして利用するのはどうか。（A・C・D案共通）

## 2) B案「災害時の避難所を確保するプラン」

### 【期待すること】

- 保育園舎が古く不安なため、統合により新築または増設するのは安心できる。
- 大塚西保育園に機能を集合するだけでなく、避難所としても活用できるような遊び場を整備できるとなご良い。
- 大塚西運動広場を駐車場として利用したとしても、避難場所としては使用できると思うので防災面での心配はない。
- 小学校と中学校の立地は近いが、敷地が奥まっていることもあり意外と離れている。西側の小学校に集約するほうが、A案よりも幾分かアクセスが良い。(B・C・D案共通)
- 公民館と学校の集約により、多世代交流ができる。子どもが大人の活動を近くで感じられるのはメリットだ。(A・B・D案共通)

### 【不安なこと】

- 大塚西保育園の敷地では、保育園の駐車場、避難所としての十分な機能が確保できるのか心配だ。
- 大塚西運動広場を保育園駐車場とすると園舎への移動が遠く不便だ。
- 大塚西保育園の自動車出入口は交差点に近く、渋滞も起きやすいので危険を感じる。
- 小学校敷地に様々な施設を集約するのは、各機能を果たすための面積が確保できるのか心配だ。(B・C・D案共通)

### 【提案】

- 大塚保育園は敷地も広く、高台にある。隣接する福祉施設との交流も期待できるので、保育園機能を大塚保育園に統合する案もあるのではないかと。
- 現在の公民館は避難所としての利用も含めて活用方法を検討していただきたい。(A・B案共通)

### 3) C案「子育ての拠点をつくるプラン」

#### 【期待すること】

- 保育園、小中学校、児童クラブの子育て機能が集約されていて、子育て世代にとっては好ましい案だと思う。
- 小学校敷地に子育て機能が集約し、現地に公民館が残る点が良い。
- 保育園と児童クラブが同じ場所にあり、保護者の送り迎えが一度で済む。  
(A・C案共通)
- 小学校と中学校の立地は近いが、敷地が奥まっていることもあり意外と離れている。西側の小学校に集約するほうが、A案よりも幾分かアクセスが良い。(B・C・D案共通)

#### 【不安なこと】

- 公民館が独立することで、多世代交流が生まれにくい。
- 小学校敷地に様々な施設を集約するのは各機能を果たすための面積が確保できるのか心配だ。(B・C・D案共通)

#### 【提案】

- 公民館の建て替え時には、避難所としての活用を見据えた施設整備を検討してほしい。
- 大塚西保育園の跡地を遊び場やオープンスペースとして利用するのはどうか。(A・C・D案共通)

### 4) D案「子育てにおける利便性向上を図るプラン」

#### 【期待すること】

- 保育園が駅近くにあるのは、電車で通勤する方や車を利用しない方にとって送迎の利便性が高まり、共働き世帯も子育てしやすくなる。
- 保育園が駅近くに整備されるうえに、低年齢児保育が実施されると便利になる。
- 多くの機能が近接し、利便性が高い案だと思う。

## まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

- 小学校、公民館の敷地それぞれで建替えられることで、ハード面でも安心できる。
- 公民館と学校の集約により、多世代交流ができる。子どもが大人の活動を近くで感じられるのはメリットだ。(A・B・D案共通)
- 小学校と中学校の立地は近いが、敷地が奥まっていることもあり意外と離れている。西側の小学校に集約するほうが、A案よりも幾分かアクセスが良い。(B・C・D案共通)

### 【不安なこと】

- 公民館の敷地で2つの保育園を集約すると敷地が狭いのではないかと心配だ。駐車場と園舎が離れるのも不便だ。また、車での通園がほとんどなので駅前にあるメリットは少ないと思う。
- 保育園と児童クラブが離れるのでお迎えの手間が増える。
- 現在の公民館敷地付近は高校生が道路右側を自転車で走行する危険があるので、保育園を移転するのは怖い。
- 小学校敷地に様々な施設を集約するのは各機能を果たすための面積が確保できるのか心配だ。(B・C・D案共通)

### 【提案】

- 災害時を考えると、大塚中学校は集約せずそのままの敷地でもよいのではないか。もともと小中学校は他の地区と比べて近くにあるため、交流の面でも問題ないと思う。
- 現在の公民館敷地に公民館機能と保育園機能を設置する、もしくは小学校と現在の敷地の両方に公民館機能を設置するのはどうか。
- 産子山児童遊び場は現在の公民館敷地よりも高いところにあるので、保育園駐車場用地としては周辺私有地の活用を検討できないか。
- 大塚西保育園の跡地を遊び場やオープンスペースとして利用するのはどうか。(A・C・D案共通)

5) 全案に共通すること

【公共施設の集約について】

- 公民館の他施設との集約は世代間交流が期待でき、評価できる。
- 防災面では普段からのコミュニケーションが役に立つ。施設が集まることで様々な方が顔見知りになるのはよいことだ。
- 施設の集約により、小中学校の体育館などを地域で活用できる等のメリットに期待している。
- 施設を集約すると送迎時の渋滞や交通事故などが心配だ。分散しても良いのではないか。
- 施設を集約することのデメリットも把握しておきたい。

【施設の立地について】

- 相楽町・東大塚・西大塚の3地域で考えると、現状の小中学校の立地はある程度バランスがとれていると思う。
- どの案も東寄りの配置になっているので、西側地区のことも考えて配置を検討してほしい。
- 保育園は車での送迎が多いので、どこにあってもそれほど不便はない。

【保育園の統合について】

- 年少から年長まで一緒に活動する機会があるのは子どもにとって貴重な体験だと思うので、保育園は無理に統合しなくてもよいのではないか。
- 少人数保育のデメリットもあるため、ある程度の園児がいる保育園のほうが子ども達の成長のためにはよいのではないか。
- 保育園は園舎の老朽化もあり、公共施設マネジメントの点からも統合はやむを得ない。
- 特色ある保育園を残すという点では、地区内に民間保育園を呼び込んでどうか。

【防災、安全について】

- 通学路の安全性について不安な箇所がある。施設を集約する際には通学の安全を改善してほしい。
- 防災について、高台への避難、一次避難所、二次避難所など段階的に考えるのがよい。
- 伊勢湾台風では現在の小中学校敷地は高潮で浸かってしまった記憶がある。できれば線路よりも北側に敷地を確保し、高い場所に集約するのが良い。

【施設の運用について】

- 公民館は名称の変更や運用の工夫により、若い世代が来たくくなるような新しい施設にしてほしい。

【新たな案の提案】

- 小中学校をそれぞれ残すことで、災害時のスペース確保だけでなく、駐車場に余裕が生まれ、近隣住民への配慮や事故防止につながると思う。
- 公民館、児童クラブ、児童館を1つのユニットとして考え、地域の人が過ごす場として整備するとよい。また、保育園を大塚保育園敷地に整備することでお迎えの距離も近くなると思う。
- 市営大塚住宅の土地を利用する。
- 地区の真ん中でもあるので、三河大塚駅周辺の新たな土地が検討できないか。
- 集約する施設の敷地を売却すれば、新しい敷地を確保する資金ができる。

2 評価の視点に対する意見

① 多様な人々との交流

- 地域の行事で交流がしやすいプランになっているかという視点が必要だ。

## まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

### ② 子育てしやすい環境づくり

- 送迎の利便性を考慮したい。
- 親目線だけではなく、子どもの目線で暮らしやすく、過ごしやすい場になっているかも考える必要がある。

### ③ 子ども達の居場所づくり

- 子どもたちの居場所に選択肢があるかという視点も必要だ。
- 中学生・高校生が勉強できる場所が確保されているか。

### ④ 生涯現役でいられる地域づくり

- 祭りや地域行事に利用しやすい配置になっているかが大事だ。
- 高齢の方に役割を与えられる施設配置になっているかという視点が必要だ。
- 高齢者の方が住みやすい配置になっているかが地域活動への参加しやすさにつながると思う。

### ⑤ 安全・安心

- 線路北側に緊急用の備蓄施設があるかという点も必要だ。
- 交通渋滞や混雑が生じにくい配置になっているかどうかという視点。保育園や小中学校を集合すると送迎の渋滞が発生すると思う。

### ⑥ 利便性の確保

- くるりんバス等の車以外のアクセス方法があるかといった視点。
- アクセスのしやすさは、施設に配置される機能を享受できるかにつながると思うので、大塚地区全体で公平な施設配置になっているかを配慮してほしい。

### ⑦ 効率的な施設配置

- 保育園などの施設跡地が有効利用されているか。

3 その他

- 子育て世代の意見を取り入れ、尊重する必要がある。
- いずれの案についても児童館を集約しないのはなぜか。
- どの案でも大塚保育園が廃止になるのはなぜか。
- それぞれの施設の海拔や津波への対策を知りたい。

## ふりかえりシートご意見

### 1 今日の議論で良かったこと

- グループには年配の方もお見えで、現在の大塚だけでなく、昔からのながれもお聞きした上での施設の再配置プランの話が色々聞けて良かったです。  
(伊勢湾台風の話や公園が一時避難広場といわれている話)  
初の参加で緊張して参加しましたが、あっという間の3時間で楽しかったです。
- 前回よりリラックスして意見が言えた。金野線の話もなぜ丹下川になりにくいのかを聞けて良かった。A から D までのプランがあって、皆さんの意見に対しそれぞれ理由が聞けて良かった。私の考えつかなかった意見も聞けて良かった。
- 別の場所…東海道線より北側に広大な土地があったら、災害に強い場所といえる。
- 小中一貫校の内容が良く理解できました。  
ア)教育方針の一本化(9年間安定した指導ができる)  
イ)教員の相互乗り入れ指導(変化を段階的に行う)  
ウ)異学年交流の活性化等のメリット(15歳の自分)  
再配置プランの考え方について:解決策と再配置プラン案の関係性の立案最高  
A) 多世代交流の拠点をつくる  
B) 災害時の避難所を確保する  
C) 子育ての拠点をつくる  
D) 子育てにおける利便性向上を図るプラン  
を実現すれば、大塚地区に多様な交流を生み、教育の拠点ができます。大変にわかりやすいプランをありがとうございました。効率的な維持更新費用や運営費の縮減となりますように。

## まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

- 若いお母さんの意見を、聞く事ができ気付かされた事があった。
- 小中一貫に加え、入園児保育園と公民館機能までも集約する考え方で、町民の老若男女のコミュニティーを深めようとするのは、良い事だと思います。
- 1.災害対策として、避難所は2箇所設ける  
2.保育園の送り迎えの便を考慮する(駐車場、交通渋滞等)  
特に、週一回あるお昼寝の日には、布団を持ち運ぶので、駐車場と教室は高低差が無い方が良い  
3.公民館と小学校を集合すると、高齢者を講師とすることで生涯現役でいられる地域づくりに繋がる
- 大きなお子さんをおもちの方の意見を聞いて、子どもが中高生や大学生になったときのことも考えていかななくてはいけないと感じました。「今」や「少し先」だけでなく、さらに長期的な視点を持つべきだと気づきました。さらに、子どもたちだけでなく自分たちも歳をとることを考えると、生涯を大塚町で暮らすのであれば、高齢になって身体が不自由になったときにでも困ることなく住める町をつくっていかねばならないことにも気づきました。ご高齢の方や、何らかの困難を抱えている方など、ワークショップに参加できない状況の人の意見こそ聞かなければいけないなと感じました。
- 東と西と相楽の方の意見がそれぞれ聞けて良かったです。

## 2 内容について言い足りなかったこと

- 皆さんの意見が沢山出ていたので、同感！と感じる事ばかりで、自分が言い足りないと思うことはありませんでした(笑)
- 外国人との交流の話が出なかったですが、これは公民館活動でやるのが一番いいと思いますが、交流はしたいが、どうすればいいかは分かりません。
- 多くの世代交流は大賛成です。
- 小生の発言内容につきましては的外れで大変申し訳ございませんでした。
- 具体的な案の中に既存の施設の利用も含めた方法を、考慮して頂けたらと

思います。

- 公共の教育、保育、文化カルチャーを集約するための、駐車場の確保と安全な動線とバリアフリー化が必要です。保育においては、乳児保育も必要に成るでしょうし、幼児の為にトイレも考える必要が有ります。また、幼児が遊べる遊具と、敷地外へ勝手に出て行けない様な対策も必要です。おそらくこれから話し合う議題に成るのでしょう。
- 新設備への移行方法（建て替え工事中の運用方法）についても考慮する必要があるのではないかと？
- Dプランについて
  - ◎期待できること
    - ・ 電車通勤の場合、送迎が効率よくなる
    - ・ 大塚保育園の線路の横断や大塚金野線の開通により車どおりが多くなるだろうルートを回避できる
    - ・ 旧道から十能交差点方面へ抜けるルートと 23 号線へと抜けるルートを利用でき、送迎車の分散が見込まれる
  - ◎不安なこと
    - ・ 西側施設へ幼児が入らないような対策
    - ・ 産子山側の斜面が地震の際に崩れないか？
    - ・ 産子山の裏側となるため、冬場の日当たり
  - ◎改善策
    - ・ 公民館を現敷地で地区の中心の拠点として維持し、保育園と一緒にするのはどうか
    - ・ 駐車場は児童遊び場まで高低差があるため保育園の近くで検討したほうが良いのでは
    - ・ 大塚駅の駐車スペースがタクシーやバス停留所しかないため使いにくい。あわせて検討してもらえないか（ロータリーが狭い、中央のモニュメントが死角となり危ない。公民館で名前を記入すれば一時的に車を駐車させてもらえるので助かっている。）

## ご質問等への回答

- 駐車場や施設の機能を果たすための十分な敷地があるかが心配だ。
- 小学校敷地に様々な施設を集約するのは、各機能を果たすための面積が確保できるのか心配だ。(B、C、D案)
- 大塚西保育園の敷地では、保育園の駐車場、避難所としての十分な機能が確保できるか心配だ。(B案)
- 公民館の敷地で2つの保育園を集約すると敷地が狭いのではないかと心配だ。(D案)

1つの敷地に複数の施設を集合する場合、必要な機能を満たす施設規模を定めた上で、敷地内に建設が可能であるか検証を行っています。各施設の基準となる規模は、以下のとおりです。

学 校：現状の児童生徒数に対応した規模

校庭は現在の中学校トラック（200m）が確保できる規模

保育園：2040年入所想定数に対応した規模

園庭については1,000㎡程度

公民館：学校と複合化する府相公民館と同規模

児童館：現在と同規模

検証上では、すべてのプランにおいて配置が可能であると判断をしています。ただし、校庭については現在と同程度のトラックが確保できるのかで検証を行っており、一部のプランでは校庭全体の広さは現在よりも狭くなる想定です。また、駐車場についても現在と同程度の駐車台数が確保できるかで検証を行っていますが、校庭と同様、一部では現在よりも駐車台数が減ってしまう想定です。

なお、実際の施設整備時には、必要機能や面積等について実際の利用状況や今後の児童生徒数の見通し等を踏まえて再度検討を行う必要があります。

● いずれの案についても児童館を集約しないのはなぜか。

おおつか児童館は、平成11年に建設された地区内でも新しい施設です。今後も適切に管理をすることで長期に渡って使用することが可能だと判断し、現在の計画では「適切に維持」としています。

ただし、C案については、子育て関連施設を集合して子育ての拠点を作ることがコンセプトとなっているため、児童館も建て替え時期に集合することとしています。

● どの案でも大塚保育園が廃止になるのはなぜか。

令和2年度に策定された「保育園グランドデザイン」において、大塚地区の保育園は将来的な入所ニーズなどを踏まえ、現在の2園を1園に集約する方針が示されました。集約により基準となる保育園の規模（概ね80～130人程度）を確保することで、現在不足している低年齢児保育や延長保育などサービスの充実につなげることができます。

ワークショップでお示ししている再配置プランは、こうしたグランドデザイン等やいただいたご意見をもとに作成しています。保育園に関しては「保育園の再編に伴い、小中学校や公民館も含めて一体的に整備するとよい」「西大塚の方は施設が遠く不便な面が多いのではないか」といったご意見を参考に、再配置プランを作成しました。

加えて、前回のワークショップでは「大塚保育園は敷地も広く、高台にある。隣接する養護老人ホームとの交流も期待できるので、保育園機能を大塚保育園に統合する案もあるのではないか」といったご意見もいただきました。そこで、大塚保育園で集合するB'案を作成しましたので、既存案とともにご検討ください。

- 現在の公民館は避難所としての利用も含めて活用方法を検討していただきたい。
- 大塚西保育園の跡地を遊び場やオープンスペースとして利用するのはどうか。
- 具体的な案の中に既存の施設の利用も含めた方法を、考慮して頂けたらと思います。(振り返りシートより)

今回のワークショップでは、施設の再配置について検討いただいておりますが、地域にとっては、再配置によって使われなくなった跡地がどのように活用されていくのかも重要な事項であると認識しています。そのため、第5回ワークショップにおいて、施設配置後の考慮する事項（付帯事項）として跡地活用の方法等についても、ご意見をいただきたいと考えています。

- どの案も東寄りの配置になっているので、西側地区のことも考えて配置を検討してほしい。
- 地区の真ん中でもあるので、三河大塚駅周辺の新たな土地が検討できないか。

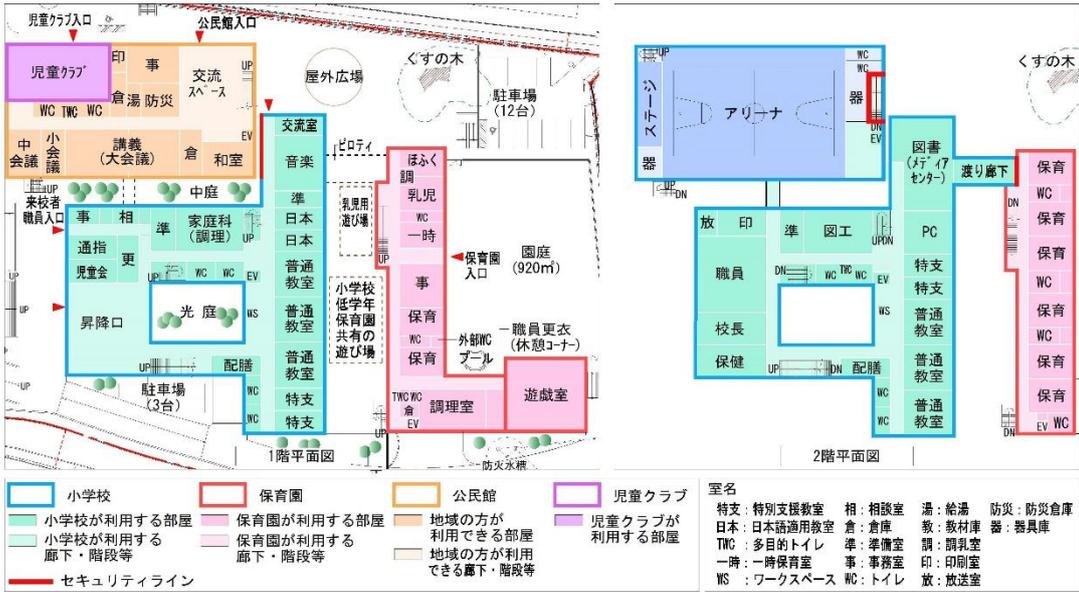
施設の立地については、多数のご意見をいただいております、関心が高い事項であると認識しています。事務局でも、地区の皆様が使いやすいような施設配置を検討しておりますが、三河大塚駅前には小中学校を配置可能な広大な敷地が無いこと、また私有地の購入に関しても将来的な売買の実現性が担保できないこと等を勘案し、現状の市が保有している土地で再配置プランを提示させていただいております。

● 施設を集約することのデメリットも把握しておきたい。

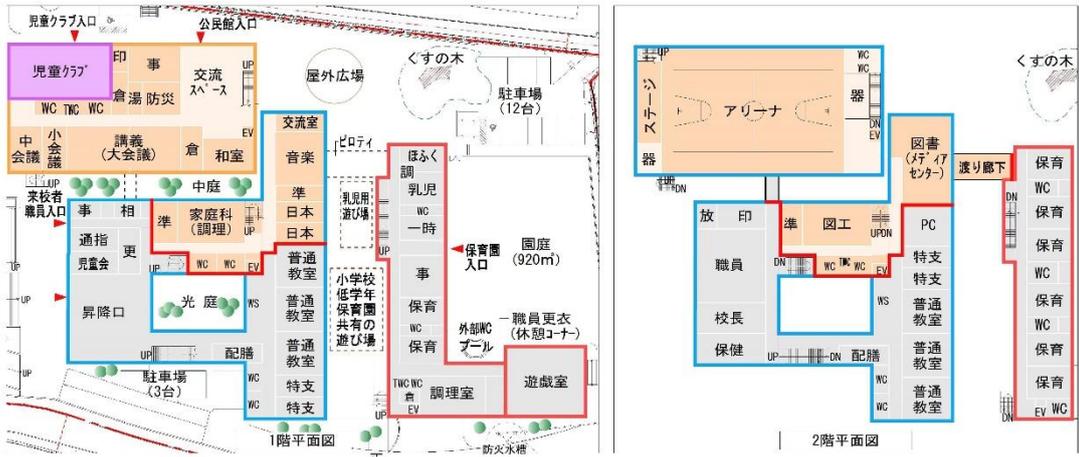
限られた敷地に複数の施設を集約することになりますので、敷地の余裕が少なくなることが想定されます。そのため、駐車場や建物配置について工夫が必要となります。

その他、過去に開催したワークショップでは、「学校と同一敷地に公民館等の利用者が出入りすることへのセキュリティ面の不安」や「それぞれの施設が発する音への配慮」といった懸念の声もいただきました。なお、下に示した塩津地区では授業中、放課後や休日等で2段階のセキュリティラインを設定することでセキュリティの確保と地域活動、交流の活性化の両立を実現する計画となっています。

○一般時（授業が行われている時間）



○一般開放時（放課後や土日祝）



## まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

- 新設備への移行方法（建て替え工事の運用方法）についても考慮する必要があるのではないか。（振り返りシートより）

既存の敷地で学校等の建て替えを行う場合には、学校等を運営しながら建て替えを行う必要があるため、仮設校舎の設置やグラウンド等の空きスペースに新校舎を建設すること等が考えられます。また、工事車両と子どもたちの動線が交わることをないよう配慮も必要です。建て替え時の運用方法等については、いただいた意見も参考に今後検討させていただきます。

- それぞれの施設の海拔や津波への対策を知りたい。

現在の施設敷地における海拔は下のとおりです。

施設名	海拔	施設名	海拔
大塚小学校	9m	大塚中学校	9m
大塚保育園	28m	大塚西保育園	8m
大塚公民館	11m	おおつか児童館	14m

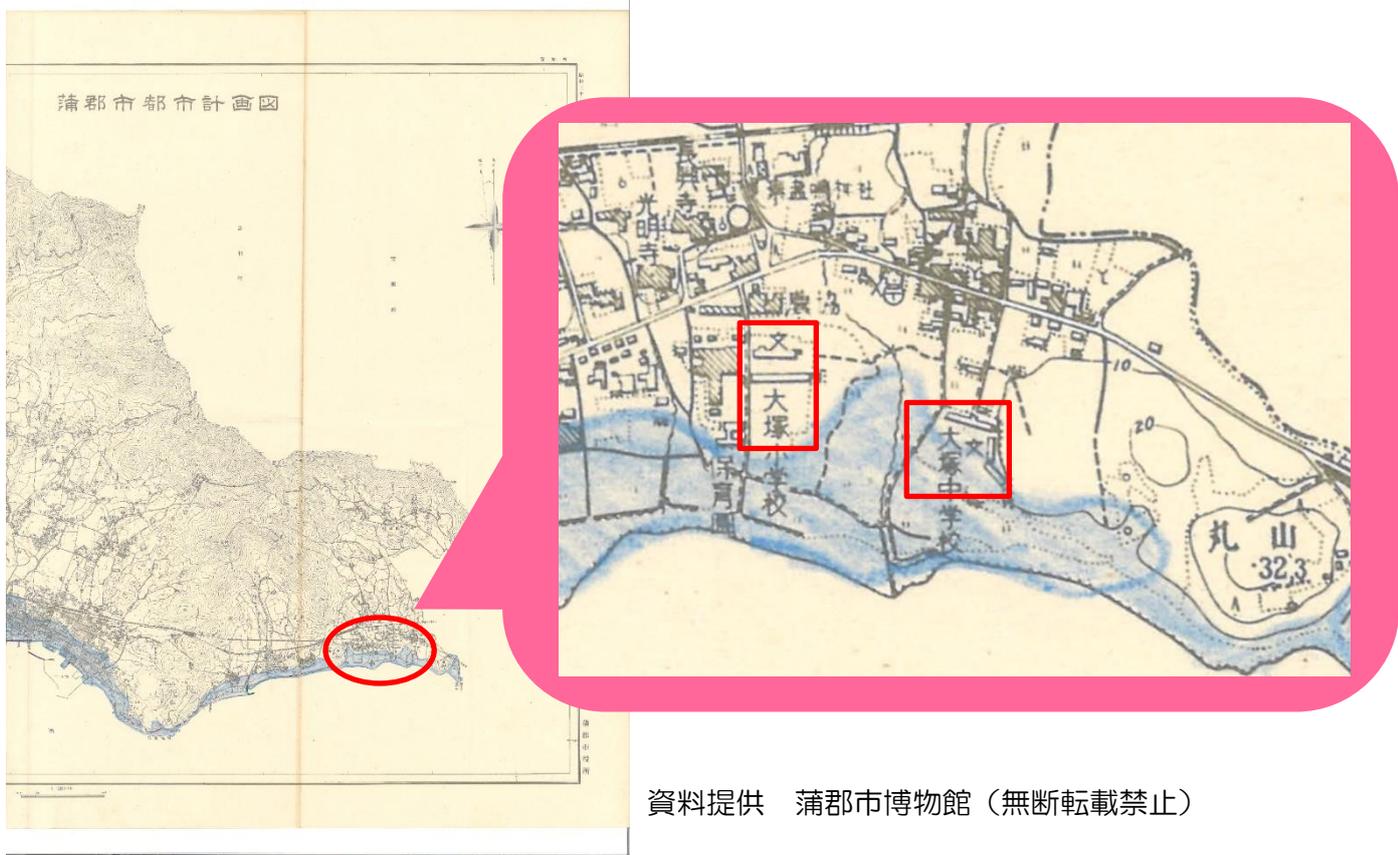
参考) 蒲郡東高校 28m

なお、先行している西浦地区では、施設が集合する西浦小学校の敷地は津波や高潮の浸水は想定されていませんが、建物配置検討の際に浸水を懸念するご意見をいただいたことから、敷地内の建物配置を定めた基本計画において、施設屋上への避難も想定したスペースを確保しています。

第1回ワークショップのときに配布した「まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ資料集」でお示したように、大塚地区の施設も同様、津波や高潮の浸水が想定されているものではありませんが、皆様からのご意見や施設の立地状況などを考慮した上で、基本計画書において建物配置などを検討していきます。

- 伊勢湾台風では現在の小中学校敷地は高潮で浸かってしまった記憶がある。できれば線路より北側に敷地を確保し、高い場所に集約するのが良い。

博物館が所蔵している伊勢湾台風（昭和34年9月発生）の記録には、当時の浸水被害が残っています。地図の青色に塗られた部分が浸水したエリアで、大塚小学校は現在の南側駐車場まで水がきていますが学校自体は浸水していないのに対し、大塚中学校は校庭の南側が浸水してしまっていることが分かります。



資料提供 蒲郡市博物館（無断転載禁止）

また、伊勢湾台風と同様に大きな被害が出た13号台風（昭和28年9月発生）では、小学校の校庭の南側まで海の水がきていること、中学校の運動場1カ所が決壊し、校庭が浸水したことの記録が残っています。

ただし、中学校のグラウンドについては、昭和46年に土を入れてかさ上げされた記録が残っており、現在は海拔9mとなっています。加えて、防潮堤の整備や海陽町の埋め立てにより周辺環境も大きく変化しています。その結果、愛知県が発表した「高潮浸水想定図」においても、学校敷地に関しては浸水想定区域に含まれていません。

# A

## 多世代交流の拠点をつくるプラン

### 【重点を置いた解決策】①②

- 現在の大塚中学校の敷地に、大塚中学校、大塚小学校、大塚公民館、大塚保育園、大塚西保育園、児童クラブの機能を集め、大塚地区の交流拠点をつくります。
- おおつか児童館は現地で適切に維持していきます。

# A'

## A案の小中学校、児童クラブの集合先を変更し、児童館も集合するプラン

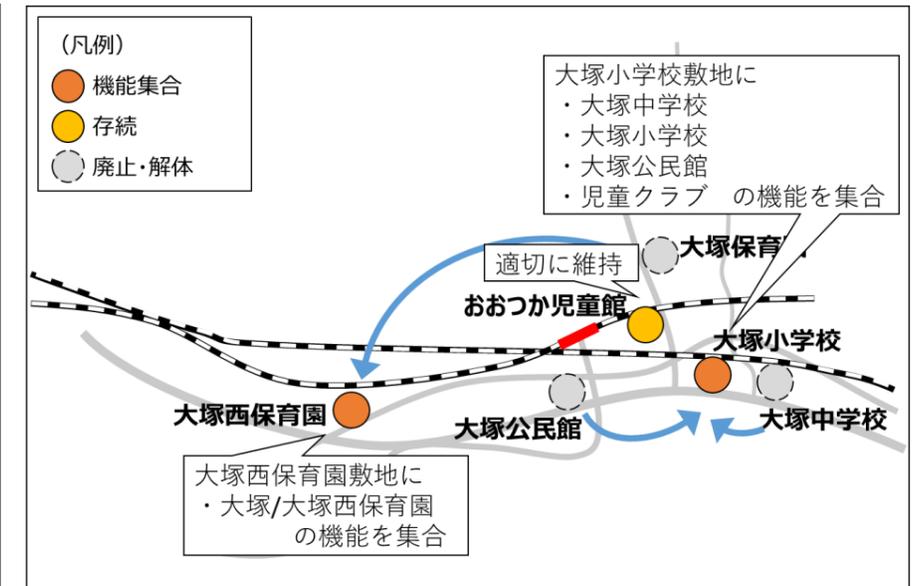
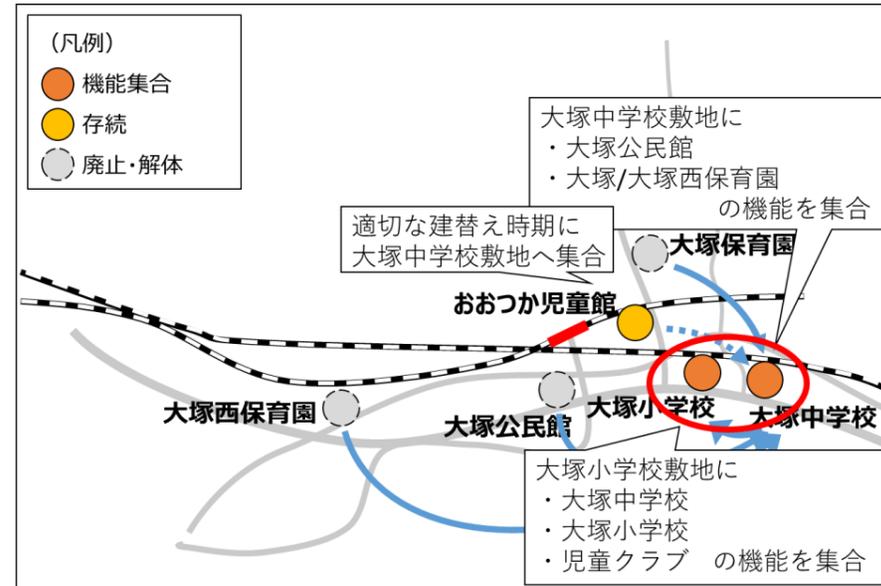
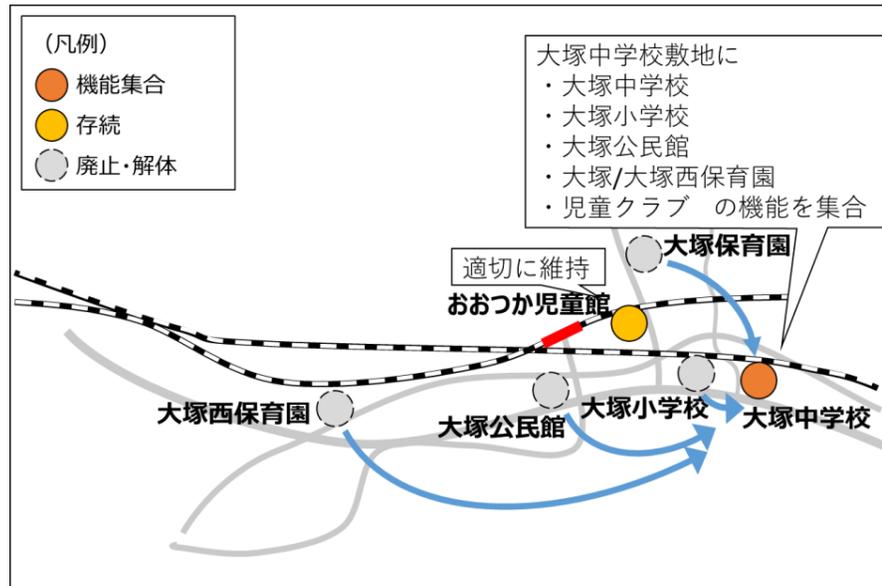
- 現在の大塚中学校敷地に、大塚公民館、大塚保育園、大塚西保育園の機能を集めます。
- 現在の大塚小学校の敷地に、大塚中学校、大塚小学校、児童クラブの機能を集めます。
- おおつか児童館は適切な建て替え時期に大塚中学校敷地へ集合します。

# B

## 災害時の避難所を確保するプラン

### 【重点を置いた解決策】⑦

- 現在の大塚小学校の敷地に、大塚中学校、大塚小学校、大塚公民館、児童クラブの機能を集め、地域に開かれた教育の拠点をつくります。
- 現在の大塚西保育園の敷地に、大塚保育園、大塚西保育園の機能を集合します。
- おおつか児童館は現地で適切に維持していきます。



### 特徴

- 中学校、小学校、公民館、保育園が一か所に集合することで、大塚地区の多様な交流を生む拠点ができる。
- 保育園から中学校が1ヶ所にあることで合同での行事実施や異なる年齢間でのつながりが期待できる。

### 【関連する解決策】①②③④⑤⑥⑪

### 課題

- 地区の西側住民のアクセス性が低下する。
- 現在避難所に指定されている施設が全て東端に寄ること、避難に時間がかかる。

### 特徴

- 公民館、保育園が中学校敷地で集合することで、駐車場や園庭を広く確保できる。
- 将来的に公民館、保育園、児童館が集合することで、大塚地区の憩いの場が整備される。

### 課題

- 建物、駐車場、園庭等を確保してもなお、残地が発生する可能性がある。
- 小中学校と公民館が離れてしまうため、多世代交流を創出するための工夫が必要である。

### 特徴

- 中学校、小学校、公民館が集合するため、学校を起点とした地域に開かれた教育の拠点が整備される。
- 大塚西保育園敷地に保育園が集合することで、地域の西側に施設を維持することができ、避難所として活用できる。

### 【関連する解決策】①②③⑤⑥⑦⑧⑩⑪

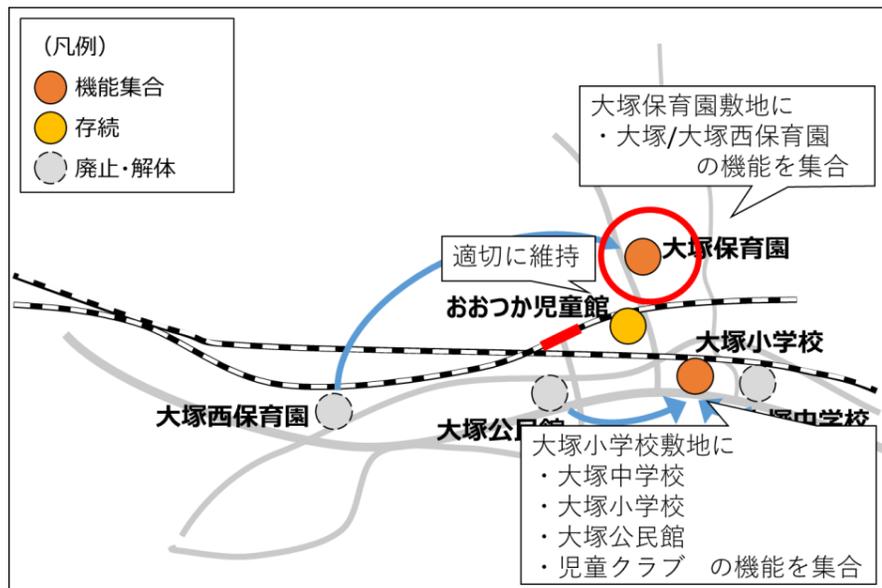
### 課題

- 保育園と児童クラブが離れてしまうため、お迎えの負担が増える。
- 大塚西保育園は現状でも駐車場が少ないため、2園集合に伴い新たな駐車場の確保が必要である。  
⇒大塚西運動広場を駐車場として活用できないか検討します

# B'

## B案の保育園の集合先を変えたプラン

- 現在の大塚小学校敷地に、大塚中学校、大塚小学校、大塚公民館、児童クラブの機能を集めます。
- 現在の大塚保育園敷地に、大塚保育園、大塚西保育園の機能を集めます。
- おおつか児童館は現地で適切に維持していきます。



### 特徴

- 地区内でも海拔の高い大塚保育園敷地に避難所を確保できる。
- 大塚保育園に隣接する福祉施設との連携に期待がもてる。

### 課題

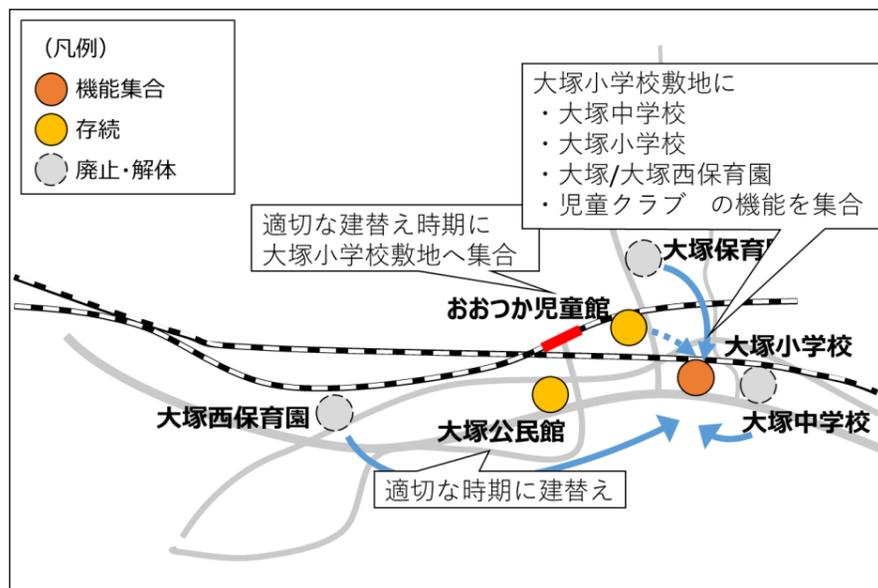
- 地区の西側住民のアクセス性が低下する。

# C

## 子育ての拠点をつくるプラン

### 【重点を置いた解決策】④⑩

- 現在の大塚小学校の敷地に、大塚中学校、大塚小学校、大塚保育園、大塚西保育園、児童クラブの機能を集合し、子育ての拠点をつくります。
- 大塚公民館は現地で維持し、適切な時期に建替えます。
- おおつか児童館は適切な建て替え時期に大塚小学校敷地へ集合します。



### 特徴

- 地域の中心にある公民館が現地で維持されることで、アクセス性が保たれる。
- 中学校、小学校、保育園が集合する上、将来的に児童館も移転することで、子育ての拠点が整備される。

### 【関連する解決策】②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪

### 課題

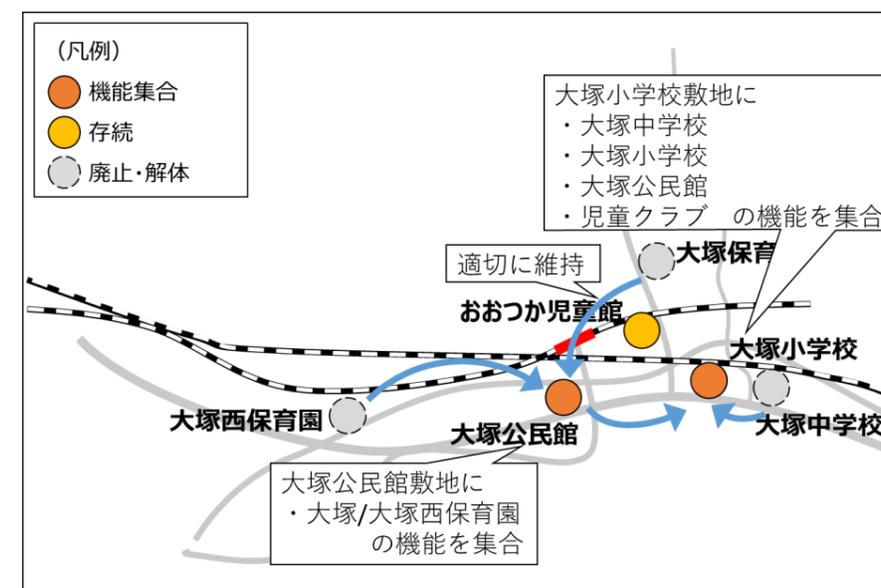
- 小中学校と公民館が離れてしまうため、多世代交流を創出するための工夫が必要である。

# D

## 子育てにおける利便性向上を図るプラン

### 【重点を置いた解決策】③⑩

- 現在の大塚小学校敷地に、大塚中学校、大塚小学校、大塚公民館、児童クラブの機能を集合します。
- 現在の大塚公民館敷地に、大塚保育園、大塚西保育園の機能を集合します。
- おおつか児童館は現地で適切に維持していきます。



### 特徴

- 駅前かつ地域の中心にある公民館敷地が活用できる。
- 公民館敷地に保育園が集合するため、お迎えの負担が軽減される。

### 【関連する解決策】①②③⑤⑥⑦⑧⑩⑪

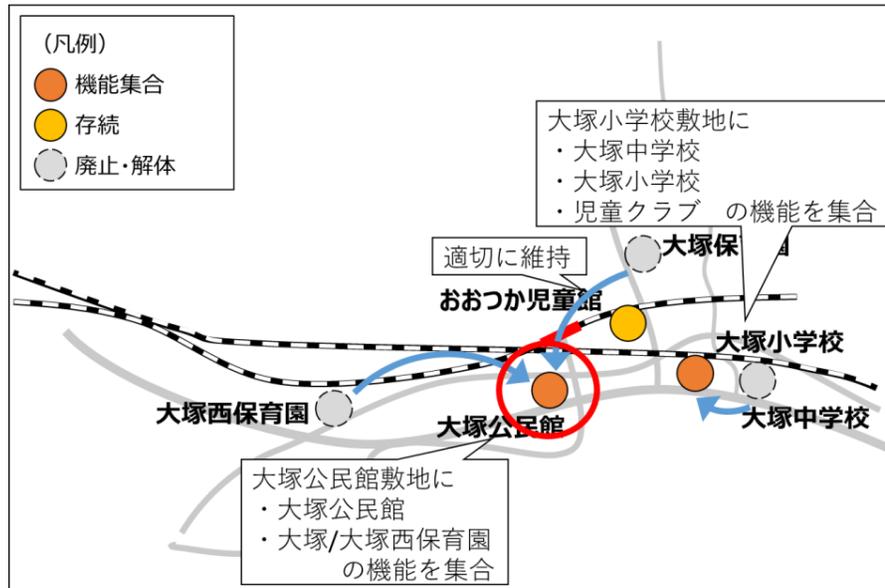
### 課題

- 保育園の移転に伴い、移転先の周辺住民の生活環境の変化が懸念される。
- 現状の公民館敷地では、駐車場の確保が課題である。  
⇒産子山児童遊び場を駐車場として活用できないか検討します。

# D'

## D 案の公民館の集合先を変更するプラン

- 現在の大塚小学校敷地に、大塚中学校、大塚小学校、児童クラブの機能を集めます。
- 現在の大塚公民館敷地に、大塚公民館、大塚保育園、大塚西保育園の機能を集合します。
- おおつか児童館は現地で適切に維持していきます。



### 特徴

- 公民館と保育園が集合することで、保育園児とお年寄りの交流に期待ができる。
- 地域の中心にある公民館が現地で維持されることで、アクセシビリティが保たれる。

### 課題

- 公民館敷地内の施設配置に工夫が必要である。
  - 駐車場が著しく不足するため、産子山児童遊び場の他、新たな土地確保の目途がつかない場合は実現不可能である。
- ※ 追加で 40 台分程度 (1,000 m<sup>2</sup>程度) が必要となる想定です。

## (参考) 小中学校規模適正化方針/グランドデザインの考え方について

### 〈小中学校規模適正化方針〉

【標準規模・標準配置】

	標準規模	標準配置	
		通学距離	通学時間
小学校	12~18 学級	概ね 4 km	1 時間以内
中学校	9~18 学級	概ね 6 km	1 時間以内

→市の標準規模を下回る規模の学校は適正化に向けた検討を行う

【区内の適正化検討対象校とその対応策】

- 大塚小学校  
[令和3年] 普通学級数：11 学級 児童数：275 人  
[推計 (令和 22 年)] 普通学級数：6 学級 児童数：205 人
- 大塚中学校  
[令和3年] 普通学級数：6 学級 児童数：136 人  
[推計 (令和 22 年)] 普通学級数：5 学級 児童数：108 人

→方針：「小中一貫教育の導入」を行い、柔軟かつ大胆な教育環境を構築

将来推計では、小学校は全学年 1 学級、中学校は 1 学級の学年が発生する規模になることが見込まれています。三谷地区との合流する手法を用いれば、規模自体は適正化される可能性はあるものの、通学距離の基準を超えるエリア（相楽町地区周辺）がある等の課題が発生します。

そのため、小中学校が一緒になる小中一貫教育を導入し、異なる学年の繋がりで多様性を育むといった新たな教育体系を構築し、「地域に根差した学校」づくりを推進していきます。小中一貫教育の制度体系・手法については、次のとおりです。

- 施設一体型の小中一貫型小学校・中学校
- 義務教育学校

なお、「小中一貫教育の形態の選択」については定めず、今後、教育的効果の研究・検討を進めたうえで選択することとします。

### 〈公民館グランドデザイン〉

【目指すべき公民館の姿】

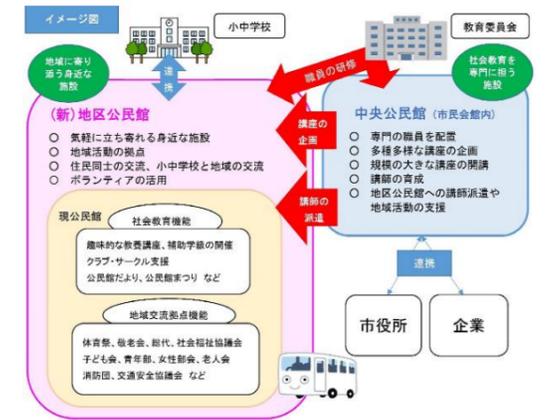
公民館の機能を 2 つに分け、それぞれの機能を十分に発揮させます。

- ① 社会教育機能（学習機能）を果たす「中央公民館」
- ② 地域交流拠点機能（地域と人のつながり）を果たす「地区公民館」

※ 地区公民館建替えの際は可能な限り小学校との複合化を検討する。

【大塚地区の公民館の配置に関する考え方】

人口規模が小さいが、大塚駅、大塚公民館周辺を地区の中心にして地域の生活圏がまとまっており、近隣の公民館への距離も離れているため、この地区に配置する公民館の数は 1 館が相当



### 〈保育園グランドデザイン〉

【基本的な考え方】

- 各地区、各保育園で統一した保育サービス（低年齢児保育・延長保育）を実施できるよう適正配置について検討します。
- 基準とする規模は、一人一人のきめ細やかな保育を実現しつつ、健全な成長・育ちの観点から集団保育を保障できる保育園の規模（概ね 80~130 人程度）とします。

【大塚中学校区における考え方】

- 将来ニーズの予想

	0-5歳児計
2040年時点中学校区内保育園等入所数予想(①+②)※	110
2040年時点中学校区内居住児童の入所ニーズ予想①	120
2040年時点他中学校区の民間園への入所予想②	▲10

- 今後のあり方

- 現在の公立保育園を 2 園から 1 園に集約します。2040 年時点の中学校区内保育園等入所数予想は 110 人であり、基準とする規模内です。
- 大塚地区では低年齢児の受け入れが不足しており、施設統合の際に自園調理室を設置し低年齢児保育を開始します。

評価の視点についてのご意見への回答

評価の視点に関していただいたご意見について、以下のとおり評価項目に反映しました。

ご意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の行事で交流がしやすいプランになっているかという視点が必要だ。</li> </ul> <p>【視点①多様な人々との交流】</p>	<p>○項目ウ「地域行事で活用しやすい施設配置となっているか。」で評価しました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎の利便性を考慮したい。</li> </ul> <p>【視点②子育てしやすい環境づくり】</p>	<p>○項目カ「子ども達が送迎しやすい施設配置となっているか。」、項目キ「自動車で利用しやすい保育園は整備されているか。」及び項目ク「駅から利用しやすい保育園は整備されているか。」で評価しました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>親目線だけでなく、子どもの目線で暮らしやすく、過ごしやすい場になっているかも考える必要がある。</li> </ul> <p>【視点②子育てしやすい環境づくり】</p>	<p>○項目ケ「児童クラブは利用しやすい施設配置となっているか。」、項目コ「広々とした校庭・園庭は整備されているか。」及び視点③「子ども達の居場所づくり」で評価しました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達の居場所に選択肢があるかという視点も必要だ。</li> </ul> <p>【視点③子ども達の居場所づくり】</p>	<p>○項目ス「子ども達の居場所に選択肢があるか。」という項目で評価しました。</p> <p>○ただし、居場所とは施設配置だけではなく周囲の大人の見守り等によって実現可能なものであるため、一律「○」で評価していません。</p>

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

ご意見	回答
<p>・中学生・高校生が勉強できる場が確保されているか。 【視点③子ども達の居場所づくり】</p>	<p>○項目エ「若者・外国人などが利用しやすい施設が整備されているか。」に含まれるものとして整理しました。ただし、施設の再配置だけで向上するものではなく、整備後の運営等によるものであるため、一律「○」で評価していません。</p>
<p>・祭りや地域行事に利用しやすい配置になっているかが大事だ。 【視点④生涯現役でいられる地域づくり】</p>	<p>○項目ウ「地域行事で活用しやすい施設配置となっているか。」に含むものとして整理しました。</p>
<p>・高齢の方に役割を与えられる施設配置になっているかという視点が必要だ。 【視点④生涯現役でいられる地域づくり】</p>	<p>○項目セ「高齢者が子ども達の活動を支えられる施設配置となっているか。」で評価しました。</p>
<p>・高齢の方が住みやすい配置になっているかが地域活動への参加しやすさにつながると思う。 【視点④生涯現役でいられる地域づくり】</p>	<p>○項目ソ「高齢者が地域活動に参加しやすい施設配置となっているか。」で評価しました。</p>
<p>・線路北側に緊急用の備蓄施設があるかという点も必要だ。 【視点⑤安全・安心】</p>	<p>○項目タ「避難所機能は確保されているか。」に含むものとして整理しました。 ○防災備蓄品に関しては現在、避難時の利用しやすさや保管スペース等を考慮し、指定避難所を中心に備蓄物資を配備しており、大塚地区では小中学校や保育園のほか、蒲郡東高校、ひめはる会館、つつじ寮等にも保管されています。今後も施設再配置や避難者数等に合わせ物資配備方法の見直しを図ってまいります。</p>

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

ご意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通渋滞や混雑が生じにくい配置になっているかどうかという視点。保育園や小中学校を集合すると送迎の渋滞が発生すると思う。</li> </ul> <p>【⑤安全・安心】</p>	<p>○項目テ「交通渋滞が生じにくい施設配置となっているか。」で評価しました。</p> <p>○ただし、小中学校は基本的には徒歩もしくは自転車にて通学する施設であるため、自動車での送迎が多い保育園について評価しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• くるりんバス等の車以外のアクセス方法があるかといった視点。</li> <li>• アクセスのしやすさは、施設に配置される機能を楽しむことができるかにつながると思うので、大塚地区全体で公平な施設配置になっているかを配慮してほしい。</li> </ul> <p>【⑥利便性の向上】</p>	<p>○施設へのアクセスしやすさについては項目テ～ナで評価しています。その他にも項目ウ・ソ・チにおいて施設周辺人口の増減で評価を行っています。</p> <p>○また、ご意見いただいたように自動車以外の方法で施設への移動手段を確保していくことも有効です。いただいたご意見は再配置決定後に考慮すべき事項として整理させていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保育園などの施設跡地が有効利用されているか。</li> </ul> <p>【⑦効率的な施設配置】</p>	<p>○土地利用の効率性を再配置による将来負担の縮減効果に反映するため、施設再配置により敷地から施設がなくなる場合、市有地の場合は売却、借地の場合は返還すると仮定して金額を算出しています。</p> <p>○施設跡地の活用方法については、今後、ワークショップ等でいただくご意見も参考に検討させていただきます。</p>

## 再配置プラン案の評価検証

### 1 再配置プラン案を比較評価するための評価軸

視 点	内 容	評価項目
① 多様な人々との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多世代交流ができる場は整備されているか。</li> <li>● 若い世代や外国人が集まる場所は整備されているか。</li> <li>● 地域への愛着を育む施設配置となっているか。</li> </ul>	ア 多様な方との交流が行いやすい施設配置となっているか。(施設の位置関係で評価) イ 交流の拠点が整備されているか。(公民館と小中学校の位置関係、児童館の立地で評価) ウ 地域行事で活用しやすい施設配置となっているか(公民館の周辺人口で評価) エ 若者・外国人などが利用しやすい施設が整備されているか。
② 子育てしやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 低年齢児保育や延長保育など保育サービスは向上するか。</li> <li>● 児童クラブは利用しやすい施設配置となっているか。</li> </ul>	オ 低年齢児保育などの保育サービスは向上しているか。 カ 子ども達の送迎がしやすい施設配置となっているか。(保育園と児童クラブの位置関係で評価) キ 自動車を利用しやすい保育園は整備されているか。(駐車場の確保可能性で評価) ク 駅から利用しやすい保育園は整備されているか。 ケ 児童クラブは利用しやすい施設配置となっているか。 コ 広々とした校庭・園庭は整備されているか。
③ 子ども達の居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子ども達の居場所・遊び場は確保されているか。</li> <li>● 子ども達の交流機会は確保されているか。</li> </ul>	サ 異年齢の子ども達が交流しやすい施設配置となっているか。(保育園・小学校・中学校の位置関係で評価) シ 子ども達の遊び場は確保されているか。 ス 子ども達の居場所に選択肢があるか。
④ 生涯現役でいられる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者のスキルを発揮できるような施設配置となっているか。</li> <li>● 退職後、地域活動に参加しやすい施設配置となっているか。</li> </ul>	セ 高齢者が子ども達の活動を支えられる施設配置となっているか。(公民館と小中学校の位置関係で評価) ソ 高齢者が地域活動に参加しやすい施設配置となっているか。(公民館の周辺高齢者人口で評価)
⑤ 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通安全に配慮した施設配置となっているか。</li> <li>● 災害に強い施設配置となっているか。</li> </ul>	タ 避難所機能は確保されているか。(避難所の収容人員で評価) チ 災害時に避難しやすい施設配置となっているか。(避難所の周辺人口で評価) ツ 交通安全に配慮された施設配置となっているか。(小中学校と保育園の位置関係で評価)
⑥ 利便性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アクセスしやすい施設配置となっているか。</li> <li>● 駐車スペースは確保されているか。</li> <li>● バリアフリーに配慮された施設は整備されているか。</li> </ul>	テ 交通渋滞が生じにくい施設配置となっているか。(保育園の立地で評価) ト 通学しやすい施設配置となっているか。(小中学校の周辺年少人口で評価) ナ 駐車スペースは確保されているか。(公民館の駐車場確保可能性で評価) ニ バリアフリーに配慮された施設配置となっているか。
⑦ 効率的な施設配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 維持更新費用・運営費用は縮減されているか。</li> </ul>	一定期間の施設にかかる総コストが低いものを評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・面積が小さいなど、建替え・改築費・改修費・修繕費が安価な場合は総コストが低くなる。</li> <li>・土地の売却や借地の返還が発生する場合は、総コストが低くなる。</li> <li>・面積が小さいなど、建物の維持管理費(光熱費・保守点検費等)が安価な場合は総コストが低くなる。</li> </ul>

2 皆さまから頂いたご意見に基づく評価

- 視点①～⑥については、評価項目ごとに ◎：現状より向上、○：現状維持もしくは一長一短がある、△：現状より低下 の3段階で評価します。
- 視点⑦については、LCC（ライフサイクルコスト）の試算における50年間の縮減額に基づき評価します。（試算の結果及び条件等は別冊資料「項目ごとの評価の解説」p.27～30のとおり。）

視 点	評 価 項 目	A 案	A' 案	B 案	B' 案	C 案	D 案	D' 案
① 多様な人々との交流	ア 多様な方との交流が行いやすい施設配置となっているか。（施設の位置関係で評価）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	イ 交流の拠点が整備されているか。（公民館と小中学校の位置関係、児童館の立地で評価）	◎	△	◎	◎	△	◎	○
	ウ 地域行事で活用しやすい施設配置となっているか（公民館の周辺人口で評価）	△	△	△	△	○	△	○
	エ 若者・外国人などが利用しやすい施設が整備されているか。	○	○	○	○	○	○	○
② 子育てしやすい環境づくり	オ 低年齢児保育などの保育サービスは向上しているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	カ 子ども達の送迎がしやすい施設配置となっているか。（保育園と児童クラブの位置関係で評価）	◎	○	△	○	◎	○	○
	キ 自動車を利用しやすい保育園は整備されているか。（駐車場の確保可能性で評価）	○	◎	△	○	○	△	△
	ク 駅から利用しやすい保育園は整備されているか。	○	○	○	○	○	◎	◎
	ケ 児童クラブは利用しやすい施設配置となっているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	コ 広々とした校庭・園庭は整備されているか。	△	◎	○	○	△	△	△
③ 子ども達の居場所づくり	サ 異年齢の子ども達が交流しやすい施設配置となっているか。（保育園・小学校・中学校の位置関係で評価）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	シ 子ども達の遊び場は確保されているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	ス 子ども達の居場所に選択肢があるか。	○	○	○	○	○	○	○
④ 生涯現役でいられる地域づくり	セ 高齢者が子ども達の活動を支えられる施設配置となっているか。（公民館と小中学校の位置関係で評価）	◎	○	◎	◎	○	◎	○
	ソ 高齢者が地域活動に参加しやすい施設配置となっているか。（公民館の周辺高齢者人口で評価）	△	△	△	△	○	△	○
⑤ 安全・安心	タ 避難所機能は確保されているか。（避難所の収容人員で評価）	○	○	○	○	○	○	○
	チ 災害時に避難しやすい施設配置となっているか。（避難所の周辺人口で評価）	△	△	○	△	△	△	△
	ツ 交通安全に配慮された施設配置となっているか。（小中学校と保育園の位置関係で評価）	△	○	○	○	△	○	○
⑥ 利便性の確保	テ 交通渋滞が生じにくい施設配置となっているか。（保育園の立地で評価）	○	○	△	△	○	◎	◎
	ト 通学しやすい施設配置となっているか。（小中学校の周辺年少人口で評価）	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	ナ 駐車スペースは確保されているか。（公民館の駐車場の確保可能性で評価）	○	◎	○	○	○	○	△
	ニ バリアフリーに配慮された施設配置となっているか。	○	○	○	○	○	△	△
⑦効率的な施設配置	LCC（ライフサイクルコスト）試算における50年間の縮減額（単位：百万円）	4,008	3,416	3,961	3,951	3,701	3,705	3,651
	◎の個数	8	9	8	8	7	10	8
	○の個数	8	9	9	10	11	6	9
	△の個数	6	4	5	4	4	6	5
<参考> I 視点①～⑥についての評価(75点満点)		40.91	46.02	42.61	44.32	42.61	44.32	42.61
<参考> II 視点⑦についての評価 (25点満点)		25.00	21.31	24.70	24.64	23.09	23.11	22.77
<参考>合計 (I+II) (100点満点)		65.91	67.33	67.31	68.96	65.70	67.43	65.38

### 3 グランドデザインの考え方に基づく各案の評価

- 評価項目ごとに ◎：各方針の考え方と整合している、○：各方針の考え方と概ね整合している、△：各方針の考え方と異なっている の3段階で評価します。

評価項目		A案	A'案	B案	B'案	C案	D案	D'案	
小学校	1 小学校は標準規模の範囲に収まっているか。	○	○	○	○	○	○	○	
	2 小学校の通学距離・時間は基準とする範囲に収まっているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	3 地区内の施設配置は方針で推奨されている適正化に向けた対応策に基づく配置となっているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
中学校	1 中学校は標準規模の範囲に収まっているか。	○	○	○	○	○	○	○	
	2 中学校の通学距離・時間は基準とする範囲に収まっているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	3 地区内の施設配置は方針で推奨されている適正化に向けた対応策に基づく配置となっているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
公民館	1 地域と人をつなぐ公民館となっているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	2 青少年が地域との交流活動に参加しやすいか。	◎	△	◎	◎	△	◎	△	
	3 学校との連携がしやすい環境が整備されているか。	◎	△	◎	◎	△	◎	△	
	4 地区内に配置されている公民館数がグランドデザインに合致しているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
保育園	1 集団保育を保證できる規模を維持できるか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	2 費用負担の軽減が見込まれるか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	3 地区内に配置される保育園数がグランドデザインに合致しているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	4 保育サービスの統一が図られているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		◎の個数	2	2	2	2	2	2	
		○の個数	1	1	1	1	1	1	
		△の個数	0	0	0	0	0	0	
		◎の個数	2	2	2	2	2	2	
		○の個数	1	1	1	1	1	1	
		△の個数	0	0	0	0	0	0	
		◎の個数	4	2	4	4	2	2	
		○の個数	0	2	0	0	2	2	
		△の個数	0	0	0	0	0	0	
		◎の個数	4	4	4	4	4	4	
		○の個数	0	0	0	0	0	0	
		△の個数	0	0	0	0	0	0	
＜参考＞各案の評価		(100点満点)	91.67	79.17	91.67	91.67	79.17	91.67	79.17

#### ＜参考＞点数の算出方法

- 皆さまから頂いたご意見に基づく評価
  - ・視点①～⑥については、各評価項目の ◎=2点、○=1点、△=0点として足し合わせ、75点に得点割合を乗じた値を下表のⅠにまとめました。
  - ・視点⑦については、50年間のLCC（ライフサイクルコスト）の縮減額の最も高い案を25点とし、その他の案は縮減額に比例して減点した値を下表のⅡにまとめました。
  - ・ⅠとⅡを足し合わせ100点満点で合計を計算しました。
- グランドデザインの考え方に基づく各案の評価
  - ・小学校、中学校、公民館、保育園の4施設それぞれの得点を25点ずつとして、100点満点で評価しました。
  - ・各施設の評価項目の ◎=2点、○=1点、△=0点として足し合わせ、それぞれ25点に得点割合を乗じた値を下表にまとめました。

## 本日の検討内容

前回のご意見を反映させ作成した追加案を加えた合計7つの再配置プラン案をご意見にもとづく「評価の視点」を踏まえて評価しました。

評価の内容について修正点や配慮すべき点などはありませんか。

## 次回ワークショップのご案内

「第5回大塚地区まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を以下のとおり開催いたしますので、ご参加下さいますようお願いいたします。

### 1 日時

令和4年3月27日（日）

午後1時30分～午後4時30分

（受付開始時刻＊オンライン：午後1時 会場：午後1時15分）

### 2 お願い

- ご欠席の場合や会場（大塚中学校 図書室）での参加を希望される場合は、3月18日（金）までに事務局へご連絡ください。
- 次回ワークショップの資料を郵送で事前に配布いたしますので、届きましたら資料に不足がないかご確認ください。参加の際に使用するZoomのID・パスコードも同封させていただきます。

### 【ワークショップ事務局】

蒲郡市総務部公共施設マネジメント課

担 当：上田・尾寄・星野

電 話：0533-66-1214

ファクス：0533-66-1183

E-mail：k-mane@city.gamagori.lg.jp